学校番号	1009

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅰ演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	例題から学ぶ数学Ⅰ＋A　　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・1年次、2年次に学んだことをより深めていくためにも、改めて定義を正しく理解しましょう。数学は正しい論理の積み重ねです。
・演習が中心になりますが、問題を解くことに重きをおくのではなく、なぜという本質をしっかり理解しながら進めていくようにしましょう。
・「何を理解して何を理解できていないか」を確認しながら学習しましょう。また、１つのことを学んだ後、それを振り返って考えるようにしましょう。

2　学習の到達目標

・基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し，事象を数学的に解釈することで，表現・処理する技能を身につける。
・適切な手法を選択して分析を行い，問題解決を行ったり，その過程や結果を考察し判断する力を養う。
・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度,問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数と式・集合と命題・２次関数・図形と計量・データの分析において、基本的概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身につけるようにする。	数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の課程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	数と式	・数と式 ・実数 ・1次不等式	a:基本的な問題が解ける b:工夫して問題を解決している c:難易度の高い問題や入試問題などについて主体的に取り組んでいる	定期考査	定期考査	・課題 ・パフォーマンス課題
	2次関数	・関数とグラフ ・2次関数の値 ・2次方程式と2次不等式 ・2次関数の決定	a:基本的な問題が解ける b:工夫して問題を解決している c: 難易度の高い問題や入試問題などについて主体的に取り組んでいる	定期考査	定期考査	・課題 ・パフォーマンス課題
2学期	三角比	・三角比 ・三角比への応用	a:基本的な問題が解ける b:工夫して問題を解決している c: 難易度の高い問題や入試問題などについて主体的に取り組んでいる	定期考査	定期考査	・課題 ・パフォーマンス課題
	データの分析・集	・データの分析 ・集合と命題	a:基本的な問題が解ける b:工夫して問題を解決している c: 難易度の高い問題や入試問題などについて主体的に取り組んでいる	定期考査	定期考査	・課題 ・パフォーマンス課題
3学期	総合演習	・数と式 ・2次関数 ・三角比 ・データの分析 ・集合と命題	a:基本的な問題が解ける b:工夫して問題を解決している c: 難易度の高い問題や入試問題などについて主体的に取り組んでいる	定期考査	定期考査	・課題 ・パフォーマンス課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度